

# 高雄日本人学校の風

校長 高口和治

## 3月5日 (月)

小学部朝会で次の話をしました。「災害が起きたときにどこで集まるか、家で話しましたか？日本の関東では何十年かに1度大きい地震が起きると言われています。先回の大きな地震が起きて80年以上がたっています。いつ起きても不思議でないときに、東北で地震が起きました。私が小学校1年生の時に起きた地震の話をします。給食が終わり、廊下に出たとき、地震が起きて、ひっくりかえりました。しばらくして、廊下の向こうから坂上先生が、こっちにくるように呼びかけてくれました。グラウンドに出たら、今でいう液状化で、グラウンドから水が吹き出ていました。先生の誘導で別のグラウンドに避難しました。そのグラウンドには灰が落ちてくるのです。これもあとから分かるのですが、近くの石油タンクが爆発してその灰が落ちてきていたのです。6月16日の暑い日で、水を飲みたかっただろうに飲んだ記憶がありません。学校には、1500人児童がいたのに、700人くらいしか、そのグラウンドに避難していなかったとをあとから聞きました。父親は今のNTT勤務で緊急時は無線を発信する係で、まったく動けず、母親も教員なので自分の担当する子どもを誘導していました。社宅に住んでいたのが代表して1人が迎えに来てくれました。もう、確か6時ころになっていて、他の子ども達はほとんどいなかった記憶があります。水が出ているところを通り、家にたどりついて、父親も母親もいませんでした。こういう災害は、想定していても想定外ということは多く、その時に慌ててしまう。災害は想定外なことが多いのです。でも、できる限りのことをしておくことが大事ですから、家でも話をしておいてください。」

朝から抜けるような太陽で、さらに、暑くて、もう、真夏です。(と、言いたい)

## 3月6日 (火)

2時間目は、黄さんが震災復興レセプションの指導の2回目に来てくださいました。興さんよるとかなり音量が出てきたということです。指導が終わり、交流協会野中所長が直接学校にきて最終打ち合わせをしていきました。

4時間目、5時間目は、卒業式練習でした。私は4時間目だけ見に行きました。呼びかけを、まだ、完成ではないですが、立派にやっていました。

9時半からPTA執行役員会と学級役員最後の会と引き継ぎ会がありました。おつかれさまでした。来年度もよろしくお願いします。

### 3月7日 (水)

2時間目に、卒業式の予行を行いました。さすがに、卒業生は緊張した感じを受けました。呼びかけも、ほぼ大丈夫です。本番まで個人に対するお礼の言葉などは封印されているようです。また、原田先生と卒業生が他の学年が戻ってから少し練習をしていました。まっすぐ立つ練習。礼の時の腕の下がり方、ひじの形（どういうわけか、あがってしまう人が3人）、来賓の方が台の上に上がるときに合わせて、起立をするのですが、その時のタイミングが微妙に遅い人がいるのです。言い換えると、ぼーっとしているのではなく、タイミングの取り方がちがうのです。10分くらい練習したら、完璧でした。

お昼休みには、地下室で中学生が12日のレセプションのために一所懸命練習してくれています。ほんと、ありがとう。日本人の台湾に対する感謝の一つが君たちにかかっている。

6年生を送る会が縦割り班で行われました。教室を回ってみました。みんなにこにこして、6年生に感謝をしつつ、みんな楽しんでいました。似顔絵なんかは、まったく似ていないのですが、これが、おもしろく、6年生も、変な顔にされてもにこにこしていて、ほほえましい感じでした。

### 3月8日 (木)

震災復興レセプションの最終確認が、交流協会とメールでやりとりをされました。

4時間目には、会場を最終的に設定をしておきました。卒業式というのは、一番、学校の行事の中で緊張します。

日本人会から紹介があった、東日本大震災一周年関連行事は、

- ・国際都市剣道交流会 武徳殿
- ・「日本人」写真展 新光三越三多店 です。(高雄分)

先日お知らせした夢時代での映画、交流協会主催のレセプション等

ともかく、私達日本人は、世界の人々に支えられていることに感謝しつつ、しっかり、足を大地につけて前に向かって示しているような気がします。

(しかし、一方で仙台にいる娘などは、私には被災地での様子などをまったく知らせてきません。5月の話だと、医療関係のボランティアに登録して、大学ぐるみで活動すると言っていました。その地にいると、あたりまえのことになっているのかもしれませんが。というのは、中越地震の半年後に、その地に転勤になりましたが、被害は見えるものの、みんな普通に暮らすようにしていました。)

